

河川砂防技術研究開発公募 流域計画・流域管理課題分野
平成27年度採択テーマ 中間評価結果

(中間評価 1年目)

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	将来の人口変動を踏まえた治水安全度バランスの適正化方策に関する研究	いであ株式会社 荒木 智三	b	治水安全度のバランス分析について着実に進められている。治水安全度バランスの意味をわかりやすく示すことに留意しながら、研究を継続することが妥当と評価する。
概要	本研究は、中部地方整備局管内の河川を対象に浸水被害の深刻度に応じた治水安全度バランスの評価手法、土地利用施策と治水事業との連携方策について研究する。			
テーマ	総合確率法を基礎とした水災害リスクカーブ作成手法の開発	京都大学 市川 温	b	水災害リスクカーブ作成手法の開発・高度化について着実に進められている。都市計画への活用方法に留意しながら、研究を継続することが妥当と評価する。
概要	水災害リスクの適切なマネジメントに資するため、総合確率法を基礎とした水災害リスクカーブ(浸水による経済的被害額とその年超過確率の関係を表す曲線)作成手法を開発する。			
テーマ	水害リスク情報を活用した新たなまちづくり手法の減災効果及び社会的影響・課題の動的变化に関する分析	土木研究所 大原 美保	b	市町へのヒアリングや住民意識調査、新聞分析などが着実に進められている。モデル地区とそれ以外の地区の住民意識の違いにも留意しながら、研究を継続することが妥当と評価する。
概要	住民・事業所・宅地建物取引業者という3者の視点から、水害リスク情報を活用したまちづくり手法の減災効果及び社会的影響・課題の動的变化を分析するとともに、今後のわかりやすい水害リスク情報の提供方法や、リスク情報と連携したまちづくり手法の新たな提案を行う。			

評価の凡例

- a:非常に優れた研究であった。
- b:優れた研究であった。
- c:条件付きで評価できる(研究費の減額等)。
- d:優れた研究ではなかった(研究の打ち切り)。